

こんなことが出来ます!

1 2 3 4 5

【暦カレンダー】→【年次コード】活用で、連続性を持たせた時間軸の中で、長いスパンの思考、発想が容易となります。
(長期の業務・プロジェクト管理等への活用)

【従来の問題点】

年月日を数える数字が1から30(又は31)で区切られると、人間の頭の中の時間の流れが知らぬ間に中断されてしまう。途切れない時間軸の中で連続性をもたせた長いスパンの思考、発想が必要とされてきた。

【解決したポイント】

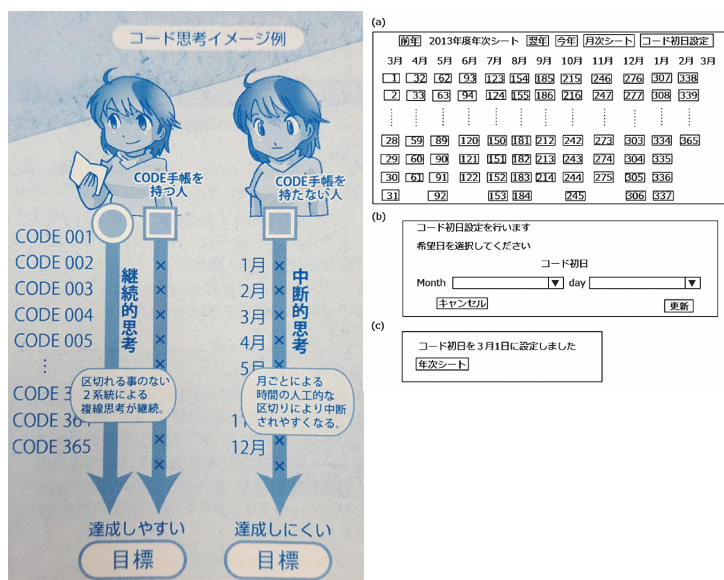
12か月カレンダーの壁を無くした年次コードで、例えば、工事開始日から現在までのように、特定日間の年月を跨る日数計算が簡単になり、プロジェクト進捗管理が容易になります。

技術の概要

このカレンダー装置は、1年のうち特定の月日を初日として、順次割り当てた1年周期のコードを、年月日に対応付けたものです。予定表、工場・建設現場での工程管理、プロジェクトの進捗管理、業務日誌、航海日誌などに用いることができます。例えば、複数の月にまたがる長い期間のプロジェクトであっても、年次コードを頼りに、予定の日数と結果の日数とを直接比較できます。これに基づき、遅れを取り戻す方策を都度打ち出し易くなります。

図・写真

年次コード割り当てイメージ



発明者からのメッセージ

企業のプロジェクト管理や、教育現場の研修用として、また、毎年恒例行事の管理に活用できます。

ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号/L2021001719
- 2) 特許番号/特許第6207946号
- 3) 公開番号/特開2015-064626
- 4) 出願番号/特願2013-196505
- 5) 出願日/2013.9.24
- 6) 発明の名称/「年次コードを年月日に対応付けたカレンダー装置」
- 7) 特許権者/パロアルトコード株式会社
- 8) 代表発明者/佐藤 徹
- 9) 実施権許諾・譲渡種別
- 10) 共同開発・研究の意思
- 11) サンプル提供の予定
- 12) 技術指導の意思
- 13) 実施実績 ☐有 ☒試作 ☐実験 ☐無
- 14) 事業化実績 ☒有 ☐無
- 15) 実施権許諾実績 ☐有 ☒無

連絡先

- 1) 所属/公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名/経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号/0857-52-6722
- 4) E-mail/chizai@toriton.or.jp